

人が過ぐす。

「木の家がいい」という人が増えています。

全国の新設住宅着工戸数（国交省調べ）の中でも木造率はこの10年で40%台から50%台へと上がっています。

木材は衝撃や音をバランスよく吸収したり、室内の湿度をコントロールしたり、他の建築材料よりも人にやさしい素材です。何より木がある空間は、リラックスでき、ストレスを軽減してくれる魅力があります。過ごしてわかるのが木の家のよさです。



●新設住宅着工戸数の推移（資料：国土交通省「住宅着工統計」）

